

1月21日(水) 本年度第27回(通算2762回)

「ロータリー理解」

担当/ロータリー研修委員会 12:30～釧路プリンスホテル

◆出席報告【会員総数69名 免除5名 出席計算に用いた会員数69名】

本日の出席率	出席者31名	メーキャップ0名	出席率44.9%
前々回の修正出席率	出席者43名	メーキャップ0名	出席率63.2%

◆ニコニコ献金

- ・高橋パスト会長、本日は宜しく申し上げます ～萩原 昭博君
- ・高橋委員長プログラム、並びにオリエンテーション宜しく申し上げます ～坂入 信行君
- ・結婚記念日、お花ありがとうございました ～鈴木 圭介君
- ・本日プログラム「ロータリー理解」宜しく申し上げます ～高橋 邦弘君
- ・長内君ようこそ北ロータリークラブへ ～富樫 孝之君
- ・長内さん、ご入会おめでとうございます ～中島谷 友一朗君

◆会長挨拶

皆様こんにちは。本日は長内名誉会員のご子息の長内 信辰君が入会されました。会員総数は69名70名まであと一步、引き続き会員増強のご協力を会員の皆様をお願い致します。

1月は、ロータリー理解推進月間です。これは会員にロータリーについての知識と理解を一層深めてもらい、又地域の皆様にもロータリーの事をよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間です。ロータリアンがロータリーの知識を学ぶ、又理解するのは当然のことだと思います。その手段方法は、23日に開催致します朝粥塾もその一つです。

周一回の例会に参加し親睦をはかり奉仕活動を実践していく、又IM,地区大会、他クラブへのメーキャップ、そういった機会に出席する事もロータリーの知識をより学ぶことになり、ロータリーの理解もより一層深まるのではないのでしょうか。

又地域の皆様にロータリーをよく知ってもらうと言う事では、昨年12月に開催いたしましたロータリーデーに関しましても、私どもの活動を掲載しポリオ募金運動も行いました。少しでも地域の皆様にもロータリーを理解していただいたのかなあと思っております。

本日は、高橋 邦弘パスト会長にお話をお聞きしロータリーに対しての知識理解を深めていきたいと思致します。

◆幹事報告

- ①1月23日(金)朝粥塾を開講させていただきます。午前7時よりプリンスホテルにて、北川直前G補佐にご講演を頂きます。締め切りは本日までとなっておりますので、是非、ご参加宜しくお願い致します。また、当日、豪 雪注意報が出ており、もし、中止の際は参加者に会長・幹事・副幹事で手分けをしてお電話にて開催の有無の ご連絡をさせていただきます。
- ②1月30日(金曜日)、釧路南クラブへのメーキャップ スタンプラリーのご案内させていただきました。今年度、出席委員会の企画のメーキャップでございますので多くのご参加をお願いします。
- ③釧路クラブ、白幡 博次年度ガバナー補佐よりガバナー事務局の開設のご案内が届いておりますので回覧させていただきます。
- ④別海RC様よりクラブ会報並びに例会プログラムが届いておりますのでこちらも回覧させていただきます。
- ⑤今年度、IMのご案内が山辺ガバナー補佐、濁沼IM実行委員長より届いております。日時は、3月7日(土)釧路センチュリーキャッスルホテルにて1:30より受付です。2:30～奥ガバナーのメインプログラムの基調講演、その後、清水パストガバナー・当クラブの足立パストガバナーの講演となります。懇親会5:30～7:30詳しいご案内、出欠に関しましては、後日FAX等でご連絡申し上げます。
- ⑥下期事業のモンゴル・フレールC国際奉仕活動・講師派遣事業の訪問日程が4月24・25・26日の3日間と決まりました。次年度の地区協議会と日程が重なってしまいましたが、是非、会長・幹事と一緒に同行希望の会員の方は、今週中に私の方までご一報をお願いします。
- ⑦最後に来週の例会は『クラブ全員協議会』です、夜間例会となっておりますのでお時間をお間違いないうよう、また、活動計画書をお忘れにならないようお願いいたします。また、入会5年未満の会員の方は極力ご出席くださるようお願いいたしまして、幹事報告とさせていただきます。



ロータリー研修委員会
委員長 高橋 邦弘

テーマ：綱領が目的に変わって、その理解度は向上したか？

《綱領が目的に改訂された報告》

長年、私達が遵奉して来た「ロータリーの綱領」の日本語版が久しぶりに「ロータリーの目的」と改訂され2012年11月28日～29日に開催された第41回ロータリー研究会にて、綱領等翻訳問題調査研究小委員会の鳥居滋委員長から発表されました。

1905年に創始されたロータリーは組織変革の都度、定款の内容を変えながら、1927年には四大奉仕部門が設立されて、1935年に定款がまとめられ「ロータリーの綱領」となりました。その後、1951年「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成する」と言う主文とともに四項目の奉仕部門が定着しました。その後、長年変わることなく日本のロータリアンに親しまれてきました。

しかし、この間、この「ロータリーの綱領」と言う日本語訳は訳語が英語の原文と比較して妥当ではない、また、内容や表現が理解しにくいなどの賛否両論の意見がありました。従って、もっと理解しやすい平易な文章にする事が日本のロータリーの宿願でした。

そして世論調査から始め、個別テーマの調査研究や原文英語の検討に至るまで3年間に渡って熱心な調査研究が続けられ、このような長年の懸命な努力が実り……

(ロータリーの友 2013年1月号より抜粋)

『目的』の主文を理解するために苦しんだ私の仮説

◆事業の基礎は「道徳」

安定した収入を得るためには、相手に対して道徳心と誠意で接し、完全な製品・商品を納め適正な対価を得る「職業奉仕」

その結果、相手から信頼を得て次の取引に繋がる、このサイクルが社会に広がっていくことが「社会奉仕」

そして安定した収入を得て奉仕する「寄付」

結果としてロータリーの目的の主文に「道徳」または類似した同義語を入れることで理解出来る文章になる。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎を道徳として、同時に奉仕の理念を育み、これを奨励することにある。

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。

- 第1. 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2. 事業および専門職務の道德水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
- 第3. ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活、および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。



新入会員紹介

長内 信辰 君
おさない のぶとき

チャイルド歯科長内医院 院長

